

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第4回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○令和6年度地域独自の予算について

### (2) 報告事項（公開）

○視察研修（案）について

○頸北地区地域協議会委員合同研修会（案）について

## 3 開催日時

令和5年7月19日（水）午後6時30分から午後8時まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

1名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：上村閨一（会長）、笠原昇治（副会長）、小川泉、新保哲男、西巻肇、船木貴幸、山本誠信、滝本委員、橋本春美（委員13人中9人出席）

・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、総務・地域振興グループ市川主査

## 8 発言の内容

### 【渡邊次長】

・会議の開催を宣言

### 【上村会長】

・挨拶

### 【渡邊次長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：滝本委員、山本委員に依頼

#### 【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 令和6年度地域独自の予算について」に入る。事務局に説明願う。

#### 【渡邊次長】

- ・事務局からの説明

意見交換に参加された委員からの感想

#### 【新保委員】

「大池・小池」では、若者との意見交換の結果、大きく3つの提案が挙げられた。1つ目は雁金城、大池小池周辺の歴史ツアーや、コスプレイヤーによる撮影会の実施などのイベント開催。2つ目はアヤマなどの群生やアスレチック施設など地域の魅力を活かした観光地化。3つ目はサウナやカヤックなどの設備設置や全国大池フォトコンテスト開催などまちづくりを進めるという意見だった。他にもジップラインの設置やマウンテンバイクの専用コース設置などの提案があり、広報手段としてはインターネットのSNSやチラシなども挙げられた。

#### 【笠原副会長】

「レールパーク・館」のグループでは、地域住民からB&G海洋センター体育館のバスケットコートへの修繕、学生向けの季節イベントの開催、若者向けの住宅提供、アウトドア活動の設備強化や情報発信の改善など様々な意見や提案が寄せられた。また、地域の特産品である仁野分の生姜の生産継続に対する支援や、公共施設へのWi-Fi設備の導入も提案された。そして、季節のイベントや公共施設の改善などにより、親子で楽しめる活動を増やすことが周知につながるのではという意見が出た。

#### 【小川委員】

「花いっぱい」のグループでは、ゲーム感覚での栽培、プランターでの育成から地植えへの移行、バス停や学校などでの花植え、高齢者施設の利用者や職員の協力による植栽などが提案された。また、周知については、町内会からの周知、学校やPTA活動と連携した周知活動、頸城区総合事務所のホームページ利用などが挙げられた。さらに、保育園、小学校、町内会の事業として取組んでもらうなどの意見もあった。

#### 【橋本委員】

「外国人」のグループでは、具体的な意見がなかなか出てこなかった。ファーマーズマーケットの開催が提案され、一方で、開催が難しい場合は、地域の高齢者が育てた野菜を定期的に小規模な市場で販売することが交流につながるという意見もあった。子供たちを巻き込むと親同士の交流も促されるという南川小学校のPTAからの意見から、小さな市場を開こうという方向で話が進み、令和6年度に向けて動けたらよいという話で終わった。周知方法については、ウェブ上での周知が提案された。

#### 【上村会長】

この4つのグループに事務局から一人ずつ参加していたので、事務局からも報告願う。

#### 【市川主査】

私は「花いっぱい」のグループに参加したが、意見交換会全体の様子を見てみると、若い方々は自らが「地域独自の予算」を活用して何か実施したいという思いがない印象を受けた。

#### 【渡邊次長】

私は「外国人」のグループへ参加した。若い方々にとって、「地域独自の予算」は初めて聞く言葉であったため、まずはその説明から始まった。南川小学校には各学年に外国人市民の児童が3人程度いることを学校で確認した。しかし、どのような活動が望ましいかについては具体的な案がなく、「地域独自の予算」の説明と外国人市民の増加に関する意見交換の段階で話し合いは終了した。また、情報発信に関しては、若い方々にも伝わるようにSNSを活用することが重要であると感じた。

#### 【岡村所長】

私は「大池・小池」のグループに参加した。予算面をひとまず横に置いて話し合ってもらったところ、新しい発想の提案が多く出てきた。ただし、若い方々が所属している団体自体も活動していくのは難しい状況にあるらしく、「地域独自の予算」を活用して事業を実施するのは少し難しいように感じた。

#### 【市川主査】

若い方々に対し、「地域独自の予算」で実施したい事業があれば7月10日までに提案してほしいと案内したが、提案はなかった。

#### 【上村会長】

事前配付された資料No.1を見た。まず周知の方法については、今まで私たちの議論の中では出てこなかったSNSでの発信などが出て、これまでは印刷物を配るということだけでマンネリ化していたのかと思う。

「大池・小池」について若い世代が自由に議論したことで多くの意見が出てきた。これらの意見をハード、ソフト面でどのようにまとめていくのか、頸城区観光協会と連携しながら令和6年度の「地域独自の予算」に提案できるか検討していく必要がある。

「外国人」のグループで話し合われた野菜販売などは、少しでも地元にも利益をもたらす形で令和6年度は販売事業をしていこうという方向づけをされたことは意義があると思う。

8月の地域協議会では4事業の提案を仕上げている段取りになっているので本日はしっかり意見交換をしていきたいと思う。

#### 【渡邊次長】

今回の意見交換を踏まえて「地域独自の予算」として力を入れていきたい事業等があれば意見を伺いたい。

#### 【小川委員】

事業の開催場所が一か所のみだと参加者が限られるので、できれば各地区に分散して何か実施できるように取組めばよいと思う。

#### 【上村会長】

「花いっぱい」のグループの中で、町内会の事業に取込んでもらえないかという意見も出たので、そのような取組を実施するのであれば、是非令和6年度予算へ反映するよう進めていってほしい。

#### 【新保委員】

「大池・小池」では、予算の財源と実際の活動主体が頸城区観光協会になるという問題がある。令和6年度の予算の中ではまず現実的に実施できるものを数件に絞り、意見交換会に出席される皆さんと地域協議会で協議しながら実施可能な提案にまとめていきたい。

#### 【滝本委員】

情報発信について、頸城区民以外にもSNSの情報発信をしてくれるような「映える

場所」を地域全体に作れたら面白いと思う。なるべくお金をかけず、けれど人が見てくれるような視点を取り入れて行くことはとてもよいと思った。

非常に予算がかかる内容が多いが、すぐに実施できそうな活動をどのように取り入れていくかが重要ではないかと思う。

#### 【西巻委員】

先ほど頸城区観光協会の話が出たが、頸城区観光協会自体も現状では手一杯な状況。私は意見交換会に「大池・小池」で参加したが、事業を実施できる組織がどのくらいあるのか分からない。洗い出しをして可能な組織をリストアップする必要もあると思う。

#### 【船木委員】

「大池・小池」についてだが、私は地域協議会委員になるまで大池小池の土地が土地改良区、県、寺社仏閣、私有地などが交錯していること自体知らなかったし、区民も同様ではないかと思うので、まずその説明をしないと出てきたアイデアも実施不可能となるので事務局にはその話をしてほしかった。

「大池・小池」の観光については、一つの案だが無印良品が水族館近くの公園で年に何度か防災を兼ねたイベントをやっている。災害があった場合のサバイバル術はキャンプでの知識が役に立つこともあるので、我々が企画するのではなく場所を提供して無印良品にイベントなどを依頼するやり方もあるのではないか。

レールパークはボランティアに遠くから来てもらいなんとか成り立っている状況で、地元の会員が高齢ということもあり集まらない状況だ。この問題は全ての団体に当てはまるがどうやって若い世代を取り込むかが今後の課題だと思っている。

瀧本邸に関しては個人で対応してもらっている状況である。他の団体とつなげて活用してくれるのであればとの話も聞いているので、当主の了解は必要だが、例えば花の会から瀧本邸の庭にアジサイを植えてもらうなど、他の団体とコラボしないと難しいところがあると思う。

ファーマーズマーケットについては、もう少し地元の野菜販売などがあれば賑わいが出ていたように思った。「外国人」との関係については、地元住民とのつながりが持てる機会をもっと増やしていったらよいと思う。

#### 【山本委員】

次の世代に渡すためには、出てきた意見を集約しながら「地域独自の予算」を取り

込んでいかなければならないと思う。

地域協議会委員だけで収めては各地域に伝わらない。いろいろな人が集まる場所でいろいろ意見を聞きながら、令和5年度の提案団体にいくつかの団体を組み入れて令和6年度予算を作っていければと思っている。

#### 【橋本委員】

「地域独自の予算」とは何か、何に対して予算がつくのか分からないという20、30、40代の人たちが多かった。何かをやりたい、手伝いたいという人がいても「地域独自の予算」を知らないことを今回気づいた。

キャンプが好きな人たちが大池でちょっとしたイベントをしたいという話も聞く。そのような人たちを集めて関わってもらえないかとは思いますが、こちらから働き掛けないと人は集まってくれないし、その説明をしないと協力してくれるところもないのが現状である。

「花いっぱい」活動であれば実際に各保育園、各小学校、中学校で花の活動をしているので「地域独自の予算」として地域で取り組みやすいと思う。各団体と各小学校をつなげるのはおそらく「花いっぱい」活動が取り掛かりやすい。ただ、主体として動いてくれる人を見つけ、働き掛けて活動していかないと、令和5年度の事業内容のまま令和6年度以降も継続するだけになってしまわないか懸念している。

#### 【笠原副会長】

ハード面、予算面の懸念事項をひとまず横に置いて話し合ってもらったところ、いろいろな案が出てきた。次にもう一步進んで、優先順位をつけて2つ、3つの中から選定して次の段階に進んでいくのがよいのではないか。

「花いっぱい」活動では、坂口記念館で花の苗の里親制度を引き受けており、また挿し木の講習会も開いている。将来的には1万ポットを作ってほしいと言われており、準備段階で少しずつ進めている状況である。このような形でできることから、いろいろな団体との関わりの中で次のステップに進んでいけたらよいと思っている。

#### 【上村会長】

若い世代との意見交換会に参加してくださった皆さんから、次回の開催も希望するという話を聞いた。しかし、本日ここに出ているような意見が出たということはほとんど共有していないと思う。

### 【渡邊次長】

若い世代との意見交換会は今回初めて開催しいろいろな意見をもらい、地域協議会委員からもいろいろな意見をもらった。8月の地域協議会後に実施する意見交換会では令和5年度に提案してもらっている「地域独自の予算」の提案団体に参加してもらいたい。また、新規の事業を担ってもらえる団体があるのかどうか、それも含めて事務局で確認し、もし参加いただける団体があれば声掛けさせてもらいたいと思っている。

また、各団体の横のつながりを持つ機会がないという意見もあったので、そのような機会を地域協議会の皆さんが連携を取りながら進めていけばよいのではないかと考えている。8月の地域協議会まで時間があるので、このような団体に声掛けしてほしいといった要望があればお聞きしたい。

### 【上村会長】

この議題全体を通して何かあれば意見をいただきたい。

### 【滝本委員】

どの事業も共通して、地域内の団体だけでは担いきれない部分があると思った。実際に、区外の人たちが多く所属している団体もある。大池でも海洋クラブというB&Gの外郭団体があるが、ほぼ区外の人が携わっている状況である。地域を変えるのは区外の人と若い方々という意見もあるので、そのようなファンをどのように増やしていくかが、一番のキーワードになると思う。

### 【船木委員】

頸城区に住む老若男女が自分から汗をかいて地域のために何かしようという動きはなかなかない。令和3年度に希望館で「くびきの灯～希望に向かって」というイベントを開催したが、その時のように区全体が一つになって何かを成し遂げるというイベントを一つ企画できたらよいと思っている。くびきの祭典は今のままでよいが、それとは別にくびき振興会や頸城区観光協会といった区の活動団体を実行委員として、一つのイベントを企画し、それに参加して共に活動してもらう人を増やさないといけないと思うので、そこからスタートかと思っている。

### 【新保委員】

若い世代との意見交換会では若い世代からいろいろな意見を聞いたが、8月の意見交換会では、意見を出してくれた若い世代の方々も自分の意見はどうなったのか興味

を持っていると思うので、参加を検討してもらいたい。

**【上村会長】**

意見交換時に積極的な若い世代の方もいた。将来を担う人たちなので、先人任せということはないと感じている。その第一歩として令和6年度予算を要求する4本柱を中心に地域協議会委員との意見交換で内容を詰めていこうとしているところだが、8月の意見交換会に前回の意見交換会に参加した若い世代の方々を是非呼んでもらい意見交換をしたいので事務局にお願いする。

他にあるか。

なければこの議題は継続審議として本日は閉める。次に報告事項に進む。事務局、説明願う。

**【渡邊次長】**

- ・報告事項1、2の説明

**【上村会長】**

上田市の研修会及び頸北地区協議会の日程については、次回協議会に確定できればと思う。

他にあるか。

無いようなので、報告事項は以上として次にその他に入る。

**【渡邊次長】**

- ・次回の地域協議会の日程について提案

令和5年8月18日（金）午後6時15分から開催

※後日、8月17日（木）へ変更

**【上村会長】**

他にないか。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。